

休み (ハ)「閉じる」と同じ手まね。戸を閉じて休業するの意味。(ロ)「欠席」と同じ手まね。

家賃 家―借りる―金銭。

やっと 遂に―やれやれ。

やつれる 掌を下に向けた両手を拳にした指の背で、左右それぞれ頬につけ、下へすり降す。頬肉がやせこけた。

宿替 「移転」と同じ手まね。

宿屋 寝る―金銭―家。

柳 指頭を上にした左手の親指の上に右手の下向けた掌をまるく被せて、その五指を上下に揺らせる。柳の枝の揺れる様。

野蜜 拳にした左手の腕を(手首の辺り)をくわえ噛む真似。「人喰人種」を表わした手まね。

山 掌を下に向けた両手或は片手にて、山の輪郭を前の空間に描く。

病 拳にした手で額を叩く。頭痛のこと。  
疼しい 反省―すまないこととした。

闇取引 秘密―商い。

やめる 掌を

上に向け五指の指頭を右にさした左手の上へ、五指の指頭を前方にさし掌を左

側にした右手を直角に叩き降す。

やりくり 不自由―金銭の回転(商いと

同じ要領)

やれやれ 掌を内側にし五指の指頭を左にさした右手を額の上左から右へさすってその手をだらりと下へ降す、「やれやれ」と額の冷汗を拭うこと。

やわらかい 片手でやわらかいゴムまりを持って中の空気を五指で圧さえる身振。ふわ



ふわとした感覚を表わす。

やんちゃ 指頭を上にした親指の背で鼻頭を左右にこする。

ユ

遺言 死ぬ—前—云う。

夕方 「黄昏」「日没」と同じ手まね。

結納 「結婚」「約束」と手まねして、次に両手で水引を結ぶ真似をして、物を前へさし出す身振。

憂鬱 「不機嫌」と同じ手まね。

有益 (何)知識—得る (儲けるの手まね)

(何)幸福—得る (儲ける)

遊廓 娼婦—町。

勇氣 握り拳にした両手の腕を左右に張って、そのまま両手を交互に活発に二三度前に出しては引く。

夕立 急に—雨。「稲光」の手まねを加えてもよし。

輸出入 「貿易」と同じ手まね。

遊蕩 「耽溺」と同じ手まね。

郵便 左手掌を内側にして指頭を右にさした人差指と中指に右手指頭を上にした人差指の指頭をつけ「丁」形をつくる。

猶予 延朝—待つ。

有名 「名高い」と同じ手まね。

優劣 掌を内側に指頭を上にした両手の親指を前に対立させて、交互に上下させる。

「較らべる」「勝負」と同じ要領。

故に 「関係」の手まねのまま、少し左へ移行させる。

所以 「意味」と同じ手まね。

愉快 「嬉れしい」と同じ手まね。

雪 「白」を表わして、五指の指頭を上にした掌を前向けにした両手を前に左右に並ら